

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和7(2025)年8月27日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「一関市では80代、北上市では50代の、夫婦による殺人未遂事件のほか、秋田県では50代の長男が90代の父親を殺害した容疑で逮捕されるなど、驚くような事件が連続して発生している。いずれも複雑な人間関係に起因する事件だと思うので、そのような背景や傾向を踏まえた対策を検討し、講じていってもらいたい。また、兵庫県神戸市で女性が刺殺された事件では容疑者が2日後に東京で逮捕されたが、防犯カメラなど捜査支援の力が発揮されたという印象を受けた。体感治安にも影響するものだと思うので、防犯カメラの設置をはじめとした捜査支援の強化について、地域事情も考慮した上で、計画的に取り組んでいっていただきたい。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 警察あて苦情の受理・処理状況について（令和7年7月末現在）

警察本部から、「本年7月中の受理件数は5件であり、内容は、警察官等の言動に関するものが1件、交通取締りに関するものが1件、相談対応に関するものが2件、その他が1件であった。また、7月中における処理件数は9件であった。」旨の報告があった。

【警備部議題】

○ 長崎県行幸啓警衛に伴う本県警察職員の特別派遣要請について

警察本部から、「長崎県警察では、令和7年9月14日、天皇皇后両陛下の『第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭』御臨場及び地方事情御視察に伴う行幸啓警衛を予定しているが、これに万全を期すため、長崎県公安委員会から当県公安委員会に援助の要求がなされたことから、本県警察官を派遣しようとするものである。」旨の説明があり、決裁をした。

○ 令和7年度東北管区広域緊急援助隊北部三県合同訓練の実施について

警察本部から、「訓練は、青森、岩手及び秋田の北東北3県における広域緊急援助隊の災害対処能力の向上及び部隊間の連携強化を目的に、東北管区警察局との共催により毎年各県の持ち回りで実施しているもので、当県での実施は令和5年度以来となる。日時・場所等については、9月9日午前10時から午後3時45分までの間、警備部隊が機動隊訓練場、交通部隊が御所湖広域公園（わんぱく広場）及び矢巾トライアルランド、刑事部隊が警察学校体育館でそれぞれ訓練を行う。参加部隊は、北部3県の広域緊急援助隊の警備部隊、交通部隊、刑事部隊及び機動警察通信隊並びに宮城県警の広域緊急援助隊特別救助班を予定しており、同班は訓練指導と安全管理役として参加する。訓練想定は、9月9日午前6時に発生した、岩手県内陸北部を震源とするマグニチュード6.5、最大震度7の地震により、住家等が土砂崩れに巻き込まれるなどの被害が発生したとの想定で実施する。訓練項目は、警備部隊が、自動車開放訓練、高所救出訓練、狭隘現場救出訓練及び想定に基づく救出救助訓練、交通部隊が、先行情報収集訓練、道路啓開訓練、緊急交通路における車両選別要領及び高度警察情報通信基盤システム（P III（ポリストリップルアイ））・無線機活用訓練、刑事部隊が、多数死体検視訓練及び身元確認訓練、機動警察通信隊が、現場映像伝送及び配信訓練を予定しており、当日は、東北管区警察局総務監察・広域調整部長が各部隊の訓練を視察する。」旨の報告があった。

【警察学校】

○ 初任科第100期長期課程学生に対する制服実務研修の実施について

警察本部から、「制服実務研修は、令和7年9月3日から同月12日までの10日間を予定しており、対象は、本年4月に入校した長期課程の学生である。研修は、盛岡東、盛岡西、紫波及び花巻の4警察署が管轄する16交番において、交替制勤務で行うこととしている。勤務日は、8時間の日勤勤務又は24時間の当番勤務となり、指導員の指導の下、学生一人あたり2回の当番勤務と1回の日勤勤務に従事し、交番勤務全般を経験する。研修最終日には、各警察署長をはじめ、署の地域課幹部や指導員、学校教官による検討会を開催し、研修効果や今後の学校教養の在り方などについて検討することとしている。」旨の報告があつた。

■個別会議

○ 運転免許課

マイナンバーカードと運転免許証の一体化に係る改正道路交通法施行に伴う審査基準等の一部改正についての報告

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 総務課

県下警察署長会議における公安委員会委員長の対応についての説明、決裁